

湖東小学校だより

令和7年1月31日 No. 12 文責：植松 満幸

3学期始業式での校長講話より

新年明けましておめでとうございます。今日は3つの話をしたいと思います。

一つ目ですが、新年になって年賀状を出したりもらったりした人もあるかと思います。その時に間違えるなどして使わなくなったはがきが出ると思いますが、それが学校に行けない人の役に立つというお話です。諏訪ユネスコ協会による「寺子屋運動」があります。書き損じたはがきを集めてお金に換え、世界の学校に行けない子どもたちが、学校に通って勉強できる手助けをしてあげる運動です。はがき11枚で一人の人が1ヶ月学校に行くことができます（学校に行けない人がいるということに驚いている子達がいまいました）。湖東小の子が一人1枚だけでも持ってきたら、17人の子どもたちが1ヶ月学校に行けます。是非お家の人に話して1枚でも良いので持ってきてこのポストに入れてください。



二つめです。昨年もお話ししましたが、大切なお話です。今年もお話しします。小さな努力を積み重ねると大きな違いになるというお話です。これは米が100粒入ったものです（写真左）。その中に一日1粒の米を入れていきます。



この一粒は一日の努力だと思ってください。これが1粒入れた写真です。違いがわかりますか（「わからない」というつぶやき）、次は1ヶ月入れた物です（「ちょっと増えた」というつぶやき）、次は3ヶ月入れた物です（写真右）（「すごく増えてる」というつぶやき）。一日の努力は小さく見えても積み重ねるとこんなに違いが出るんですね。校長先生も、昨年の1月1日から「体幹」という運動を1分間始めました（一日一日に〇をしたカレンダーを示す）。これを始めて最近体重計に乗ったときに、実際の年齢より10歳くらい若いと出て驚きました。はっきりと違いがわからないかも知れないけれど、一日一日の努力は大きな違いを生みます。小さな努力を大切にしていきましょう。

最後に「心のスイッチ」という詩を読みます。新しい年になり、気持ちが新しくなって頑張ろうとする心が沸き起こる時ですね。聞いて下さい。

心のスイッチ 東井義雄（著作権に配慮して、詩の掲載はしておりません）

（ころろがないと、見ても見えず、聞いていても聞こえないということ。心のスイッチが入ると、素晴らしい成長をすること。電灯のスイッチが家を明るくするように、心のスイッチを入れて頑張っていきたいという願いを込めて詩を朗読しました。）

新年になり、新しい気持ちになったところです。心のスイッチを入れて、一日一日を大切に生活していきましょう。

冬だからこそできるもの

子どもたちに尋ねると、「冬は寒いから好きじゃない」という声が多く聞かれました。寒いと体が縮こまって、活動しにくいからでしょうか。気持ちはわかります。ただ、「冬だからこそできる事もある」という見方をすると、その環境を活かして生活するという「人間の生活の知恵」を感じることが出来ます。

諏訪地域は、冬は晴天率が高く、その分気温が低くなります。その低温を活かす「凍み文化」がありますが、その一つが「スケート」だと思います。かつては校庭リンクが至る所にあり、その低温という環境を活かして冬のスポーツを楽しむ文化は、温暖化の進んだ環境の今でも受け継がれています（現在諏訪地域では3校が校庭リンクで滑っています。土手が高くなっている校庭の学校はスケートリンクがあった証拠です）。本年度全ての学年でスケート教室が開かれ、冬だからこそできるスポーツを楽しむことができました。また、スキーも諏訪地域では楽しむことができます。雪の少ない環境でも低温を活かして人工的に雪を作ることができます。23日には5、6年のスキー教室が行われました。快晴の絶好の天候にも恵まれ、インストラクターさんの熱心な指導の下、全員がリフトに乗って滑り降りることができました。かつては全学年でスキー教室（1年生のみそり教室）をしていましたが、諸物価の高騰で5、6年のスキー教室となりました。来年度は施設やバス代の値上がりも予想されます。今後のスキー教室の在り方については現在検討中です。

低温を活かした食文化もあります。凍み大根、こおり豆腐、こおり餅、角寒天がそれにあたります。28日には4年生が凍み大根作りに挑戦しました。両角はつ江さんを始めとする郷土料理を教えてください。皆さんが来校して、大根を茹で、間隔をつけてひもで吊して、干す作業を行いました。子どもたちは、この地域ならではの食文化の体験をし、「地域で昔からやっていることが知れて良かった。」「はつ江さんからもらったゆずみそ大根がおいしかった。」と言っていました。野菜は傷みやすい食材ですが、こうやって水分を抜くことで長期保存ができ、しかもうま味も増すという生活の知恵の素晴らしさを感じ取って欲しいと願っています。



来年度に向けてスタート

1月28日には立ち会い演説会・児童会選挙が行われました。今年は児童会長候補、副会長候補が一人ずつ立候補したので、信任投票という形となりました。会長候補の両角晏莉さんは、「みんなが行きたいと思える学校にしたい」と方針を説明し、副会長候補の村上希実さんは「児童会長を支えながら、毎日行きたくなる学校にしたい」と方針を説明しました。また応援演説をしてくれた湯田坂凜子さんと名取真夏さんは「いろいろなアイディアを出せる」「いつもだれに対しても優しい」と2人の良いところを熱心に語ってくれました。投票の結果、2人は信任され、次期児童会長、副会長となりました。現6年生の創造的な児童会活動を受け継ぎ、自分たちの個性も出しながら、学校生活をよりよくする活動を本年度のように創って欲しいと願っています。



お知らせ

● 皆様のご協力により、書き損じはがきが80枚集まりました。これで7人の子どもたちが1ヶ月学校に行くことができます。一人一人の小さな力でも合わせると大きな力になる。自分の生活している環境を当たり前と思わない事等学ぶことができました。ご協力に深く感謝いたします。

2月の予定

3日（月）交通安全指導の日	18日（火）ハケ岳総合博物館見学 4年
4日（火）校長講話	児童総会
5日（水）人権読み聞かせ 1年	21日（金）低学年参観日
10日（月）なかよしアンケート相談週間	（低学年下校 14：50 高学年下校 15：40）
12日（水）縄文の湯校外見学 1年	23日（日）家庭読書の日
13日（木）高学年参観日・PTA 総会	25日（火）準備児童会（5年生進行）体重測定 6年
（全校下校 14：50）	26日（水）体重測定 4, 5年 地区懇談会
14日（金）児童会引き継ぎ	27日（木）体重測定 3年
	28日（金）体重測定 1, 2年

